

運動部活動改革プラン

(前年度予算額： 78,500千円)
令和2年度予定額： 75,138千円

概要

「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月)を踏まえた運動部活動に関する実践・調査研究を行い、各学校において持続可能な運動部活動が行われるよう、研究結果を周知・普及させる。

事業内容

運動部活動の在り方に関するアドバイザリー会議の開催等

外部有識者による実践・調査研究の実施状況の把握及び実施結果の周知・普及

持続可能な運動部活動の体制整備に関する実践研究

運動部活動のニーズの多様化等に対応するため、以下の課題に関する実践・調査研究を実施
(地方公共団体や法人格を有する団体に委託：13地域)

ニーズの多様化

【課題】
適度な活動量や強度を望む生徒、総運動時間の二極化への対応

【期待される効果】
多様な運動機会の創出による運動習慣の形成

地域との協働・融合

【課題】
少子化に伴う部員の減少、顧問教師の負担軽減

【期待される効果】
「学校単位での活動」から「地域単位での活動」への移行により、生徒のスポーツ環境を確保

スポーツ医科学に基づいた活動の推進

【課題】
長時間活動の是正、合理的活動の推進、女子成長期におけるスポーツ活動への理解促進

【期待される効果】
科学的トレーニングの導入、相談窓口の設置による効率的・効果的な活動の促進、障害・外傷予防

競技大会の参加・運営の在り方

【課題】
大会参加に伴う活動量の増、合同チームの参加、引率教師の負担軽減

【期待される効果】
競技大会の運営や開催数の適正化、教師の負担軽減

大学・企業との連携

【課題】
外部人材の確保、顧問教師の負担軽減

【期待される効果】
人材供給体制の構築による安定的な部活動運営、指導の質の向上、教師の負担軽減

各学校における持続可能な運動部活動の実施